



巻頭ご挨拶

日頃より、港湾行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。とりわけ軽石漂流への対応においては、ご多忙中にもかかわらずご協力いただき、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

さて、現在、まん延防止等重点措置が香川県にも適用されている状況です。今回のごあんぜんには、感染対策としても有効な遠隔安全パトロールについて特集いたしました。遠隔臨場については以前から取り組んで来たところですが、新型コロナの感染対策としてリモート環境が急速に進展し、徐々に安全パトロールにも活用されていることから、今回、日本埋立浚渫協会 四国支部安全委員会の皆様にご協力をいただいて、実施状況に関するアンケートを行わせていただいた次第です。

この遠隔安全パトロールは、得られる情報がカメラ映像に限られるという課題もありますが、遠隔地のLIVE映像をオフィスに居ながら見ることが出来る点や同じ映像を見ながら経験豊富な技術者の視点・指摘を若手が共有することによって技術向上に繋がるなどメリットも多いと考えます。また、臨場による従来型の安全パトロールと使い分けることによって、現場の安全確保により大きな効果があると考えます。今回の強化期間はまん延防止措置期間と重なることから、合同安全パトロールに遠隔安全パトロールを取り入れたいと考えていますので、ご協力方よろしくお願い致します。

結びに、今回の強化期間は「安全は、チームワークで確保する！」をスローガンとして取り組んでまいります。この期間に、入場時の教育、朝礼、安全ミーティング、安全パトロール、KY活動などを通じて、今一度強化を図っていただければ幸いです。今年は寅年、全身安全カラーの干支にあやかって事故ゼロを目指しましょう。ご安全に！
事業計画官 亀岡知弘

令和3年度 第2回 工事安全強化期間

(令和4年 2月1日 ~ 2月15日)

安全強化期間 スローガン



安全は、 チームワークで 確保する！

四国地方整備局の港湾空港関係直轄工事においては、令和4年2月1日～2月15日を令和3年度第2回工事安全強化期間と定め、スローガン（標語）を用いたポスター掲示やワッペン着用、稼働中現場における安全パトロール等の取り組みを実施予定です。

新型コロナウイルスの感染状況によっては、WEBで実施する可能性があります。

港湾・空港関係直轄工事における死傷災害発生状況

単位：人

	令和2年度（4月から12月末まで）死傷者数（A）		令和3年度（4月から12月末まで）死傷者数（B）		（B） - （A）	
	死傷者数	死亡者数(内数)	死傷者数	死亡者数(内数)	死傷者数	死亡者数(内数)
全国	26	0	22	2	-4	2
四国管内	1	0	0	0	-1	0

出典 国土交通省港湾局技術企画課調べ

全国では、昨年度と比較して、16%程度死傷者数が減少しております。しかし、2件の死亡事故（おぼれ）が発生している状況です。

四国管内では、12月末時点では無事故・無災害となっております。引き続き、無事故・無災害に向けた取組をお願いします。

遠隔安全パトロールの実施状況について

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、取組が急速に始まったWEB安全パトロール。今回は日本埋立浚渫協会 四国支部安全委員 のご協力のもと、各施工会社のWEB安全パトロールの実施状況等について取りまとめたものが以下のとおりです。

あおみ建設、みらい建設、りんかい日産建設、五洋建設、若築建設、大本組、東亜建設工業、東洋建設、本間組、不動テトラ、寄神建設（順不同）

使用しているシステム

Safie、V-CUBEミーティング5、Gレポート、Teams 等

気になる費用

無料～1台50万円を超えるものや、リース料として月額5万円程度するものも

実施回数（頻度）等

1回/月行っている会社もありますが、まだ全体的には普及していない状況。

遠隔安全パトロール等の有用性

移動時間の削減、目的箇所を絞った確認に適している、映像を保存し若手職員等の教育に有効、多くの者が参加でき色々な視観点による所見の期待ができる。等

実施上の課題

通信障害、カメラの映像だけのため、不安全行動や設備の不備の見落とし、移動時の足下が不安全、視点が一定となるため同じ所見が多くなる。等

課題に向けた改善策

映像を映す人と説明者の2名体制、360°カメラ、使用機材の性能アップ 等



現場撮影状況



現場確認状況

四国地方整備局としての今後の取組

12月に室津港、須崎港、宿毛湾港において、遠隔臨場によるWEB安全パトロールを実施しました。上述と同様な有用性と課題が挙げられましたが、移動時間の削減、気軽に現地を観られるという点では非常に有益だと思われまます。この特徴を生かすことで、若手職員等の積極的な参加や、安全パトロールのみならず通常業務においても遠隔臨場を活用するなど、業務の効率化に繋げてまいります。

潜水作業において

前年は全国の港湾関係直轄工事で死亡事故が3件おきており、そのうち2件が潜水作業時での事故でした。潜水作業を伴う現場の安全対策については、潜水作業安全施工指針等参考にするなど、今一度安全対策が徹底されているか確認をお願いします。また、大水深で実施されるリスクの高い潜水作業を行う場合は事前に産業医のアドバイスを受けるなどの検討をお願いします。



<あとがき>

令和3年度も残り2ヶ月。今年度四国管内の直轄工事（業務）事故は少ない状況ではありますが（発行時点では0件）。しかしながら今まさに冬本番を迎え、まだまだ体を動かすににくい日々が続きます。寒さ対策、体調管理、及び新型コロナ感染拡大防止対策も含め安全確保努め、無事故無災害で工事・業務が終了するよう、引き続きご協力をよろしく願いいたします。

